

” ペデジャー - なる ” Web

OB・OGと現役生を結びながら、懐かしさと新しさ香るつくばの風を、季節の便りとしてお届けしていきます。

“ ペデジャ - なる ” 2013年春号

2013年5月2日



筑波大学メールマガジン “ペデジャ - なる” 2013年春号



OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1 今昔ペデ南下旅

今回はかつて入居していた方も多いはず！平砂宿舎&天久保池編です。現在の様子は...？

2 とある大学生の暇人病闘病記

忙しい時は寝る間もないのに暇な時は睡眠にも飽く...そんな大学生VS暇人病の死闘が幕を開ける！

3 春休みの小さな旅

長期休暇の楽しみの一つと言えば旅行ですね。素敵な景色と美味しいもの満載の仙台旅行記！

4 別れと出会いと花粉症

春は別れと新たな出会いの季節ですね。しかし人によってはそれ以上に辛いものが！？

5 アパ民お風呂事情

一日の疲れもお風呂でリフレッシュ...とは言えアパートに住むアパ民には苦行でもあるのです。

6 わたしの春休み～おまつりで人を笑顔に～

3月20日につくばセンター広場で行われた、ふるさとつくばゆいまつりのレポートです！

7 なにやら見覚えのある自転車を発見した話

筑波大生のマストアイテム・自転車。連れ去られてしまったある自転車の奇跡の帰還物語

1 今昔ペデ南下旅



春眠暁を覚えず。まさにこの言葉がぴったりな季節がやってきました。春です！新年度を迎え、読者の皆様の中にも新しい生活をスタートさせた方がいらっしゃるでしょうか。

筑波大学も新入生を迎え、学内が活気づいています。自転車...ここまで言えばもうお分かりですね。行列と渋滞が発生しています。

4年生に進級した私にとっては、1年生がフレッシュすぎて直視できない...。まぶしい...！

そんなフレッシュな1年生が最初にお世話になるところといえば...

やってきました、平砂宿舎です。宿舎の紹介をするのはなんと創刊号の一の矢宿舎以来、約2年ぶり！あっという間です。

宿舎の中でも最初に建てられたのがこの平砂宿舎で、かなり古くからあります。平砂といえば有名なのが「スラム」と「変な形の部屋」。私が1年生の時に邪魔した友人の部屋は確か五角形でした。これはまだ良いほうだ、なんて言っていた気がしますが...。スラムはその名の通り「スラム」のようで、つくばの自然の中で育った虫サンと同居なんてこともしばしば。私はスラムにお邪魔したことはないのですが、話を聞くだけでもう充分です。

そんな平砂宿舎ですが、昨年には改修工事が行われ、見違えるほどにきれいな宿舎へと生まれ変わりました。お古のころにお世話になった上級生は、ただただ羨望の眼差し...。外観もおしゃれでいいですね。



カラフルな宿舎が建ち並ぶ中、未だ改修されていない棟が。奥に見えるのは10号棟ですが、あれがいわゆるスラム...!?

さて、追越宿舎へ移動...の前に少しだけ北上しちゃいます。

体芸エリアから平砂に向かうまでの間に「天久保池」を通ります。私の好きな風景です。つい先日までは満開の桜がとてもきれいでした。今の葉桜も鮮やかでとてもきれいです。

私だけでしょうか、夏頃になると時々謎の音がこの天久保から聞こえるのです。「プォー」といった感じの。カエルかと思ったのですが、それにしては少々低音がきいているなど。私の知らない何かがいるのでしょうか。知りたいような、知りたくないような。



天久保池にて。自然が多いところも筑波大の魅力のひとつ。田舎から出てきた私には安心する景色です。ちらっとのぞいているのは私の自転車。

私たちメルマガ1期生もいつの間にか4年生です。就活、教育実習などそれぞれ忙しい時期に突入です。残りの大学生活もエンジョイしつつ、皆様にも筑波大学の様子をお伝えしていきます。（...私は卒業までに最後まで南下できるのだろうか？そもそもゴールは...？）

（人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ）

2 とある大学生の暇人病闘病記



4月2日。

ひまだ。

3月下旬に約一年に渡るアメリカ留学から帰ってきて、4月の9日につくばに引っ越すまでの束の間の春休みを満喫するつもりだった。

しかし考えが甘かった。予定が全く埋まらないのである。

普通大学生が実家に帰省するというと、旧友たちと再会を果たしてカフェや居酒屋で延々と語り合ったり、久しぶりの家族団欒を楽しむというのが主な過ごし方ではないだろうか。

しかし大学に進学して以来、地元の友人たちと疎遠になっている私にとって、中学や高校時代の級友たちと会って現状報告し合うことも、思い出話にふけるということもない。

そんな私は是非、家族団欒に精を出したいところである。しかし、これもなかなか難しい。

家族構成は父・母・姉・私の4人で、そのうち父と姉は平日に働いている。つまり、平日家に残るのは、私と母である。そしてその母は、年甲斐もなくネットゲームにハマっている。完全に個人プレーである。

ということで、必然的にこのありあまる時間を一人でつぶさなければならない。そんなこんなでアメリカから帰ってきてから2週間ほど、ほぼ毎日実践してきたのが、暇つぶしの王道、昼寝である。

私自身、最初はこの暇つぶしを楽しんでいたのかもしれない。しかしここに来て、体が悲鳴を上げはじめた。頭痛である。誰もが一度は経験したことがあるであろう、寝過ぎによる頭痛だ。これをお医者さまに言わせると、偏頭痛になるらしい。ちなみに私に言わせると、怠け者認定痛である。この頭痛があつてこそ、本物の怠け者というわけだ。

これが長期に渡り昼寝を繰り返した私の場合、結構ひどいのである。もはや横になるだけで、ずきずきとした鈍い痛みが襲ってくる。

クワバラ、クワバラ。

そんなわけで私は今日の目標を昼寝をしないことに決めた。しかしこの目標を達成するための代償は大きかった。

ひますぎるのである。テレビはつまらない。読書もなんだか気がのらない。一度思い立ったように、SNSを通して姉の写真一枚一枚にコメントをつけてみたりもしたが、それもすぐ飽きた。

人間、ひますぎてなにもしないと、なにかしなければいけないという強迫観念に駆られるものである。今までの私は昼寝をすることによって、この強迫観念から逃れてきた。しかし今日はそうもいかない。私はこの特殊な心理状態を暇人病と名付け、それと向き合うことにした。

まずこの病を克服するために私が始めたのは、考え事である。これで全くなにもすることがない最低レベルの暇人から、考える暇人へと一歩前進した。そしてふと気付いたのは、私の愛しき学生生活はあと2年しか残されていないということだ。この2年間で記憶に残る2年間になればいいなと思った。

そして私が始めたのがこの、日記を書くことである。ここまで来ると、考える暇人からさらにステップアップし、実際になにかをする暇人になった。全快は近い。今後は途中経過をみながら日記を書き続け、闘病生活を続けていくことになりそうだ。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 河原一愛)

3 春休みの小さな旅



日本に留学してから、2年半が経ちました。この2年半に一回も旅を出なかった私は、春休みの最後の一週間を使って、小さな旅を出しました。

ちょうど大学の親友が仙台市にいるので、旅の先を仙台にしました。久しぶりに会ってない親友と一緒に仙台市の周りを観光するのが、とても幸せな一週間でした。観光したところのなかに、一番印象に残ったのが松島というところですよ。3月末の筑波はさくらがもう咲き始まりましたが、松島はまだまだ冬の寒さが続いています。なぜか分からない



のですが、寒さのなかに空が異常にきれいでした。遠くまで見ていくと、海と空が一つの線になったようです。かもめは海岸の周りにのんびりしています。松島はとても静かなところでした。まるで、かもめのなる声しか聞こえなかったみたいです。そのようなところで、暮らしたら、きっといくら悩みがあると、忘れられそうな気がします。

そして、その日の昼ごはんは松島産のカキセットでした。松島産のカキは小粒ながら味が凝縮されました。カキセットのなかにカキ丼、焼きかき、カキフライが含まれていました。一気にカキの何種類の風味を味わうのが、高い幸福度を感じました。



私は、今回の小さな旅が今年度の修士論文を書くために、自分にエネルギーをチャージすることだと思っています。小さな旅は大きな意味を持っています。

(人間総合科学研究科 教育学専攻 于森)

4 別れと出会いと花粉症



春ですね。春といえば別れ、そして出会いは避けては通れません。大好きな先輩・後輩とのお別れ、そして新たな人との出会い。ちょっと切ないけれど素敵な季節ですよ。

春を待ち遠しにしているのは人間だけではなくありません。寒くて縮こまっていた冬を越え、草木が芽吹くすばらしい季節でもあります。蔭の臺が出てきて桜が咲く...しかしこんな美しい季節には花粉という魔物が共存していることを忘れてはいけません。

今や国民の5人に1人が発症しているともいわれている花粉症。そして毎年増え続ける花粉の飛散量...花粉症のみなさんは、この辛さわかりますよね？そんな私も重度の花粉症です。しかしみなさんとは少し違った花粉症。私はスギではなく、シラカバ花粉症なのです。ブタクサとか、ヨモギとかはまれに聞くことがあるけど、シラカバ？シラカバってあの高原とか寒い場所にあるやつ？

そうです。その通りです。これです。見ただけでくしゃみが出そうです。



筑波大学植物見本園のシラカバ

北海道に住んでいる人でスギ花粉症の人は基本的にいません。（私は北海道出身です）道民で花粉症＝シラカバ花粉症なのです。

苦労した浪人時代を経て、やっと筑波大学に入学して、関東だしシラカバないから花粉症ともおさらばだぜ！！とウキウキでつくば生活をしようとしていました、し・か・し！

あれ、おかしい、くしゃみが、く、くしゃみがとまらない・・・！

そう、なんとシラカバはつくばにも存在しているのですね。

この時期、マスクや目薬をしても症状が抑えきれないのは仕方ありません。みなさん、隣の部屋からくしゃみが聞こえてきたら、「あ、花粉症なんだな、がんばれ！」とそっと心の中で応援してくれるとありがたいです。

（人間学群 障害科学類 岡山未季）

5 アパ民お風呂事情



すっかり春になりましたが、まだまだ朝晩冷える日もありますね。こんな日に恋しくなるのは、そう！お風呂ですよね！芯から冷え切った体を湯船に沈めればピリッとした熱さがなんとも心地良い…。お昼のぼかぼか陽気とはまた違った温かさに癒されます。しかしアパ民にとってはどんなに恋焦がれても安易に手に入らないものでもあるのです。ああお風呂、あなたはどのように水道代とガス代がかかるの…！へたに入ると逆に寒い…でも入らないのも寒い…そんなお風呂にいかに入るか、アパ民たちの工夫を聞いてみました！

Case1:日があるうちに入る

お風呂に入って寒くなるのは夜で気温が下がっているからだ！そんな主張を基に生まれたこの工夫。やり方は簡単。帰ったらすぐにお風呂に入るだけ！これで若干寒さが和らぐとのこと。本当でしょうか…？問題は授業が遅くまでであるとできないことだとか…

Case2:お湯をはっちゃう

水道代とガス代に関しては妥協してお湯を張っちゃうというもの。それでも最大限節約するため、水位は最低、湯船のお湯は数日間使う、シャワーがお湯に切り替わるまで水を浴槽にためておく等々、細々した方法を組み合わせて使います。ちょっとだけ某節約生活を思い出しました。

Case3:気合でシャワー

そのまんまです。気合があれば寒い夜のシャワーにも耐えられる！という猛者の業です。しかしこれを行う人がものすごく多いのもまた然り。筑波大生は我慢強いのかもかもしれません。

いかがですか？読者のみなさんが学生時代にした工夫もこの中にあるのではないのでしょうか？ちなみに現在、つくば市内のアパートは、プロパンガスのもので都市ガスのものであるそうで、値段も全く違う模様。光熱費や水道代とにらめっこしながら、こんな涙ぐましい努力を重ね、一刻も早く暖かな夜が続くことを願っている筑波大生は数知れません。とはいいつつ、あと数カ月もすれば暑さにやられながら冷房代をいかに節約するか知恵を絞り始めるのです。ああ、快適な日々がずっと続けばいいのに…

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 野川佳奈代)

6 わたしの春休み～おまつりで人を笑顔に

だんだん暖かくなってきましたねー！新生活の春、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

今回は春休み中に行われた 「第2回 ふるさとつくば ゆいまつり」について紹介します！ このおまつりは筑波大学の学生と社会人の方々が協力して運営しているもので、まだ今回が2回目である新しいおまつりです。

つくば市での、人や文化、知のつながりを創ることを目的にしており、つくばを出てしまった人もこのおまつりをきっかけに帰ってこられるような場にしたいなーと考えています。

当日はつくばの飲食店が集結し、ゆいまつり特別メニュー

なども販売した「グルっとつくば」という企画や、つくば市周辺で活躍する様々な団体による「コラボステージ」という企画などが行われました。私はゆいまつりメニューの中でライスバーガーやいちご串など、たくさんの美味しいものに会いました！コラボステージではヒーローショーも行れ



たりして、子供から大人まで楽しめるおまつりになっていたように感じます！私も一日中会場にいましたが、たくさんの人たちの笑顔が見られてとても素敵な1日でした！来年の春にも行われるのでぜひまた行きたいです！みなさんもぜひいらしてください！

私は実はこのおまつりの実行委員をやっていたのですが、終わってみて一番実感したのが人の笑顔の素敵さでした。実行委員をやっていて大変なこともたくさんありましたが、当日来場した方々の笑顔を見たら疲れなんが一瞬で吹き飛びました！ゆいまつりに限らず、おまつりってとても楽しい場で、大人も子供も楽しめる場ですよね。たくさんの方が笑顔になれる場を作れてとても嬉しく思いました！

とてもあったかい気持ちになれた春休みでした。まだまだ授業も大量にある2年生の1年が始まりましたが、私も課題に負けず笑顔を忘れず頑張ります！

(社会・国際学群 国際総合学類 篠木菜月)

7 なにやら見覚えのある自転車を発見した話

ある日の授業後。

私は大学近くの100円ショップに立ち寄り、自転車を駐輪しました。その駐輪スペースには、なにやら見覚えのある自転車が。スピードの出る、ちょっと高い自転車です。カスタムされたライトといい、スピードメーターといい、明らかにそれは半年前に盗まれた私の彼氏の自転車でした。

どうしたものか……。私は、思い切って張り込みを決行することにしました。



軟弱そうな人物だったら「それ、私の自転車なんですけど」と、言ってやろうと思いながら、待つこと30分。出てきました。ものすごく背の高い外国人の男性が。

あえなく作戦変更。

彼氏の元に戻ってくるチャンスを作るべく、その自転車にまたがる外国人を尾行することにしました。つかず離れずの距離を保ちながら尾行していると、なんとバイトに向かう彼氏に遭遇。必死で状況を説明すると、ものすごい勢いで外国人を追いかけていきました。なんとか外国人に止まってもらうことに成功！話を聞くと、どうやら盗まれた自転車を盗んだ人物のよう……。ひたすら説明し、「ほんとにあなたの？じゃあかえすね。」と、返してもらえました。自転車が戻ってくるなんて、まさに奇跡的な出来事でした。

この広い筑波大学を生き抜くためには自転車が必須といっても過言ではありません。在学中、盗難に遭った経験のある方も多いのでは？

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久)



編集後記

連休も明けて初夏の陽気の日もちらほらですね。とはいえ、まだまだ朝晩冷える日もあるつくばから春号をお届けです。春号は前回とは仕様を変えまして...この1回のみでの配信です。メンバーも増えたので、今後は毎回前後編になるか、配信回数が増えるか...まだまだ未定です。もしよかったら、ぜひぜひ読者の皆様のご意見もお聞かせください！

さてさて。筑波大では今年度から2学期制が採用され、学年暦もかなり変わったような気がします。学生生活最後の1年、どうなるのか今から楽しみです。学年暦が気になる方はぜひぜひ筑波大学公式ホームページをご覧ください！また、春と言えばやどかり祭！ですね。今年も例年通り5月下旬、今年は5月24日と25日に行われます。合わせてチェックですよー！

 筑波大学 公式ホームページ:<http://www.tsukuba.ac.jp/>

 筑波大学 facebook:<https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

 編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

 デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久

情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥

 ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日1-8-3筑波大学春日プラザ1階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2013 University of Tsukuba. All Rights Reserved.
